

ふれあいかんだより

2

かわさきし
川崎市ふれあい館

かわさきかわさきさくらもと
〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800
http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

2018.2.1
No.346

かわさきしよかん
川崎市所管

みらいきよせいしよねんしえんしつ
こども未来局青少年支援室 (Tel.044-200-3083)

しょうがつ お正月あそび「コリアン文化にふれよう」



今回の「コリアン文化にふれよう」は、お正月遊びということでユンノリ(韓国・朝鮮の双六)とトック(韓国・朝鮮のお餅)を楽しみました。ユンノリは双六に似た遊びでふれあい館の子どもと川崎朝鮮初級学校の子どもの合同チームを2つ作って白熱したゲームが繰り広げられました。とても盛り上がったゲームの後に、トックスープを食べました。日本の雑煮に似た料理でトックの入ったスープをととても美味しく頂きました。

しじがっきゅう 識字学級「みんなの想いを文字にしました」



2018年初めての識字学級では、色々な国から集まった学習者たちのこれからの一年に向けての願いや想いを書初めで表す時間ももちました。小学校の頃に授業で使ってから20年ぶりに筆を使うという中国からの学習者の方もいれば、そもそも「筆なんて生まれて初めて!」というベトナムやフィリピン、ブラジルからの学習者の方々もいました。学習者の方は、最初は何を書けばいいのかが分からず戸惑いましたが、共同学習者(=ボランティア)のみなさんと一緒に今年目標や普段の願いをひとつひとつ、丁寧に文字にして完成させていきました。中には、これから生まれる子どもに想いを寄せる初めてママになる人もいれば、豊かな老後の過ごし方を夢見る高齢の方の書初めもあり、みんなが心温まる時間でした。

かんもち ふれあい館で「お餅つき」を行いました。



1月18日(木)にふれあい館の子どもプログラムで「餅つき」が行われました。普段なかなか体験することができない餅つきに子どもたちは胸を弾ませて参加しました。ふかしたてのもち米を潰している時に「だんだんお餅になってきたー!」と嬉しそうに大きな声を出し、重い杵を「よいしょ、よいしょ」と言いながら一生懸命お餅をついていました。川崎の朝鮮初級学校からの参加もあり賑やかなひと時を過ごすことができました。

ふれあい館 2月の予定

こども部門

子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

小麦粉粘土遊び	1日(木)	10:00~11:00	色つきの小麦粉粘土で遊べます。アレルギーの方はご遠慮ください。
おもちゃのひろば	15日(木)	10:00~12:00	やさしい木のおもちゃで遊べます。「木育」で豊かな心を育てよう。おもちゃコンサルタントもいます。
ぴよぴよタイム	20日(火)	10:30~11:00	月に一度の身体測定の日です。保育士によるエプロンシアターなどもあるよ。
お誕生会	27日(火)	11:30~11:50	2月生まれのお友達集まれ！ 手形のプレゼントがあります。

キッチンおふくろ「ひなまつりのお祝い料理」

●日時:2月22日(木)10:00~12:00

●毎年恒例となった、地域の先輩お母さんたちによる料理講座です。

●講師:川崎市地域女性連絡協議会のみなさん

●持ち物:エプロン、バンダナ、飲み物、お子さんの食べるもの ●参加費:300円

●申し込み:2月5日(月)10:00から電話か来所で申し込みを受け付けます。電話:044-276-4800



いっしょにつくろう

●日時:2月8日(木)10:30~11:00

バレンタインにちなんで、ハートを使い色画用紙で簡単な工作をします。



キッスペーススろぼではママたちの活動中の保育支援をしています。

くわしくはキッスペーススろぼまで

●小中学生プログラム・・・他にもたくさんプログラムがあるよ♪ くわしくはたより(あそぼ)をみてね

コリア文化と仲良し	つき かい 月1回	3:30~	韓国・朝鮮のいろいろな遊びを体験しよう!
-----------	--------------	-------	----------------------

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月のたより(あそぼ)があります。

●民族文化サークル

舞踊クラブ	まいしゅう かようび 毎週 火曜日	じ じ ぶん 4時~5時30分	かんこく ちょうせん おど なら 韓国・朝鮮の踊りを習います
子どもチャンゴ	まいしゅう きんようび 毎週 金曜日	じ じ ぶん 4時~5時30分	かんこく ちょうせん だ が っ き なら 韓国・朝鮮の打楽器を習います。

●中高中生の活動

中学生学習サポート	まいしゅう か すい もくよう 毎週 火・水・木曜	じ じ 7時~9時	おも しんと にちがいこくじん ちゅうがくせい すいようび どのうび 主に新渡日外国人の中学生(水曜日・土曜日)、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生(火曜日・木曜日)の基礎学力保障のための学習 かい 会
	まいしゅう とうよう 毎週土曜	じ じ 1時~3時	

成人部門

人権尊重学級 ④報ずることで不正義を正す

「ヘイトスピーチ問題を考える～差別根絶のために条例制定を求める川崎をみつめて～」

- 講師：石橋 学さん（神奈川新聞記者）
- 日時：2月2日（金）19時～21時 ●参加費：無料
- 場所：川崎市ふれあい館 ●主催：川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会
- 問い合わせ：川崎市ふれあい館 e-mail fureaikan@seiky-sha.com 電話 044-276-4800

入学サポートについてのご案内

- 日時：2018年2月15日（木）10:00～12:00 ●場所：川崎市ふれあい館 文化交流室
- 内容：①日本の小学校について
 一学校行事等一年間のスケジュール、学校への持ち物、給食、個人面談や家庭訪問など
 ②国際教室について
 ③学校に提出する書類を一緒に書く
 ④放課後の過ごし方について：わくわくプラザについて
- 講師：小学校の国際教室の先生
- 必要に応じて通訳の方を呼びますので、お話しください！



■ふれあい館人権講演会 「ルポ川崎・川崎に生きる若者たち」

川崎に生きる若者の生活・生きざまを描いたルポタージュ、「ルポ川崎」。その取材を通して何が見えてきたのか。地域の若者たちと語り合い、ラップで届ける。

- 日時：2月17日（土） ●時間：19時～21時 ●場所：川崎市ふれあい館
- 講師：磯部涼さん（音楽ライター） FUNIさん（ラッパー） 地域の若者たち
- 問い合わせ：川崎市ふれあい館 ●電話：044-276-4800 ●主催：川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

●識字学級・・・生活に必要な日本語を学びます

曜日	毎週 火曜日・金曜日	参加費	無料（教材費は実費）
時間	10:00～11:30		



高齢者部門

在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

「以前は、よく集まって、歌ったり、踊ったりしたけれど、最近では、そういう機会がめっきり減って・・・」「日本人の集まる場所は、うまく字も書けないし、馬鹿にされるから行きたくない。」そうした在日コリアン高齢者のネットワークを結びなおし、結成されたのがトラチの会。だれでも参加できます。お気軽にお越しください。

2月の予定	6日・・・お誕生会
	13日・・・ソルナル
	20日・・・おたのしみ

27日・・・氣功

●トラチの会 会食会例会

まいしゅう火よう 11じ～2じ半 食事代300円
 在日コリアン高齢者の自主活動支援



●チャンゴサークル

まいしゅう火よう 10じ20ぶん～10じ55ぶん



●フラダンスサークル

まいしゅう木よう 1じ～3じ



2017年度(第23回)青少年フェスティバル開催

- 1 テーマ『集まれ笑顔 広がれ元気 ぼくらでつくろうあそびのメモリー』
- 2 日時 平成2018年3月4日(日) 10:00~15:30
- 3 場所 川崎市とどろきアリーナ及び等々力緑地内催し物広場(中原区等々力1-3)
- 4 内容 様々なオリジナルゲームやバルーンアート、警察・消防体験、ダンスパフォーマンス、工作コーナー、模擬店、フリーマーケットなどが楽しめる子ども向けイベントです。
- 5 問い合わせ とも未来局青少年支援室
電話 044-200-2669 E-mail: 45sien@city.kawasaki.jp

新作路

(シジヤノ)



●障がいのある子ども達の接し方について最近考えることがある。以前に居た小学生の現場で1日に7~9人位の子どもと過ごしていたが、障がいがあるといっても肢体が思うように動かすことが難しい子や自閉症など様々な子どもが利用していてそれぞれ接し方も違う。個人的な意見では子どもなのだから、みんな同じだけ楽しんでもらえれば思っている。例えば車椅子が必要な子なら他の子が行けない所まで散歩に行ったり、自閉症やADHDなどの、こだわりが強く他の遊びが楽しめないなら、その子が好きなもの用意したりしてもいいと考えている。だがそれはあくまで個人的な意見であり、保護者と子どものことについて話すと、好きに遊ばせていいという保護者もいれば、みんなと同じルールで一緒に遊ばせてほしいと言う保護者もいる。●色々な考え方がある中で子どもと保護者と過ごしてきたが、私が今いる現場で当時小学生だった子が中学生になり、そのうちの何人か顔と顔を合わせることもある。以前と変わらず元気な子もいれば、感情表現が豊かになった子もいた。そんな時に思うのが子ども達と

の接し方はあれで良かったのか？他に何か出来ることがあったのでないのかと考えたりもするが、それも自己満足的な考え方で、実際には何もせずに同じ日常を過ごしていれば本人の成長する力だけで十分なのではないか。いくら考えても答えは出ない。一人の子どもで上手く関われたとしても他の子で同じ様に対応して上手くいくとは限らない。●新規で利用する子と出会ったら、その時に考え、悩み、実践するしかない。一週間に数時間程度の利用時間でも、その子の放課後の過ごし方や対応について考えることや悩むことが多い。●忙しいなか情報を提供してくれる保護者からの要望にはなるべく応えるようにしたい。保護者に頼まれていた、その子との約束事や守らなければいけないルールでも子どもが嫌がった表情や態度を示す時は無理強いをしなくても思ったりもすることがある。しかし頼まれて引き受けた以上は最後までやらなければいけない。色々な考え方や対応方法があるなかで最終的には子ども、保護者、スタッフがお互いに譲り合い、協力していくのがこの職場なのだと思う。

(M)